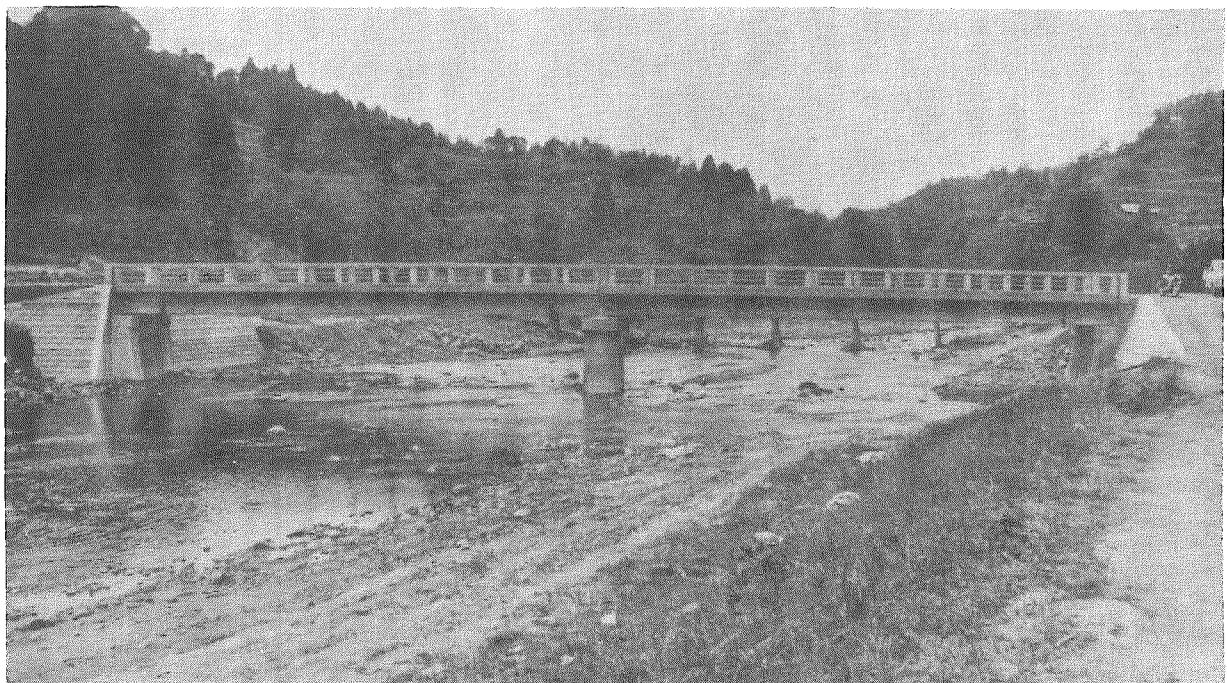


# 広報あいら

発行所 鹿児島県姶良郡姶良町役場  
発行人 池田盛孝 編集人 雨乞信

(印刷所)  
キング堂印刷所

町の人口動態 (4月1日現在)	
世帯数	6,918戸
人口	10,824人
	12,551人
	23,375人
3月の	出生 30人
	死亡 20人
	転入 232人
	転出 611人



(とじておくと便利です)

(完成した城橋)

支所、出張所で取り扱つてきました、印鑑登録、証明は五月一日から本庁で取り扱います。

復旧をいそがれていました城橋が完成しました。この城橋は、災害復旧事業によりかけ替えられたもので、長さ四十二メートル、巾三、六メートルで総事業費千二百九十七万二千円（内国庫負担金九百十七万一千円）を投じたりっぱなコンクリート橋です。

この完成により生徒、児童の通学の安全はもちろん、農林業の生産にはたす役割は大きなものがあります。

また、城橋と同様に流失しました豊中橋、瀬戸川原橋は三月二十八日に工事に着手しました。豊中橋は、末吉組が千三百二十六万円で請負われ、十月十五日に完成する予定です。尚、瀬戸川原橋は、大隅工務所が六百六十七万八千円で請負われ、九月七日に完成することになります。これらの橋が完成しますと、本町の重要路線にかかる大橋は、全部コンクリート橋になります。

## 城橋が完成

豊中橋、瀬戸川原橋は工事に着手

四十五年度一般會計

予算当初  
五億七千七百万円

## 重要施策は

上教社産社会  
水道事業の継続実施  
会業(時道)福経  
育の社済環境の整備  
向振興興上興

昭和四十五年の第一回定例講会の開会にあたり、新年度の町の施政について、その所信を表明いたしますとともに、予算の概要を説明申しあげ、みなさまのご理解とご協力をいただきたいと存じます。七〇年代は、わが国の経済はさらに安定した成長をとげつ、一方では、国際化が進み技術革新や情報化の進展に伴つて著しい変革がもたされる時代であると思います。

また自治の振興、内政充実の時代でもあるといわれ、あるいは、精神の時代、すなわち人間性の回復をはかる時代であるといわれています。

ことに人間尊重の精神に基づく豊かな社会づくりの実現こそ、われわれ町民がこぞつてあたるべき重要な課題であると考えます。このような時代のはじまりにあたり、わたくしは、これらの事に意を用いつつ本年度の目標に努めていく決意であります。

本町も合併後、すでに、十五年目を迎えて、県内でも先進的な規模の雄町に成長いたし、内容外観ともに充実してまいりましたことはまことにご同慶に存じます。これもひとえに町民各位が町の発展と繁栄を期することの重要さを認識され、常にご理解に基づく協力をいただいたことと、町議会の各位が大乗的な立場に立つての深いご理解とご協力をいただいた賜りまして、わたくしは衷心から感謝と敬意を表する次第であります。

わたくしは、この郷土をさらに進展させ、豊かな明るい実のある町として、次代の人々に引継ぐ責務があると思います。

それにはわたくしどもが、当面する数々の現実的な課題を、熱意と勇気をもつて、その実現をはかつていかなければならぬと思います。

今後町は、ますます多種多様性を深めながら進展するものと思われますが、それだけに多くの行政需要をかかることになり、長期的な見通しに立った振興計画と効率的な投資が必要であることはいうまでもありません。

長期構想については、現在作成中でありますて、その骨子とするところは、本町の性格目標として「高度の田園都市の形成」「西地域の産業交通の要衝」「創造力豊かな町民性のかん養」などを中心に策定いたしたいと思っております。とくに今後の課題として次の点に重点をおいて進めてまいりたいと存じます。

(五) 上水道事業の継続実施  
また、国の施策である米の生産調整についても最善の努力をはかりつてまいりたいと存じます。  
地方財政にあつては、四十四年度は、国際収支の好転や国税の増収による地方交付税の伸びのために、地方財政は多少ゆとりができるとして、地方交付税の税率の引下げなどが論議されたのでありますが、地方財政によつて賄うべき地方行政の水準は、きわめて低いという常説で、もとどおりの線におちついたのであります。

四十五年度の国の予算案によりますと、地方自治体の財源は、十四年度よりかなりゆとりがでるであろうと言われていますが、從来地方交付税に多くを依存してい来る実情からいって、決してゆとり

(一) 住みよい地域づくりとして社会環境の整備

(二) 産業経済の振興

(三) 社会福祉の向上

(五) 農村（過疎）環境の整備  
(六) 公共施設の体系的整備  
(七) 広域行政による消防署の設置  
また、補完機能としては「開発公社」の設定を期したいと存じ  
ます。

(一) 国道十号線のバイパスの完成  
(二) と市街地化地域の整備  
九州縦貫自動車道と地域開発  
(工場などの積極的誘致)  
(三) 公園墓地の設定  
(四) 下水道の長期計画

ある財政とは考えられません。地方財政のすう勢は、歳入面の伸びに対し、年々增高しつつある義務的経費などによる財政需要面の伸びが大きいため、ますます逼迫しつつあります。本町は赤字

装工事を実施する計画であります  
また、県道舗装については、極  
力県に陳情して事業を促進する考  
えであります。

## ◆社会(町道)環境の整備

長期計画に基づき、重富第一土地区画整理事業の推進、主要町道及び急坂町道の舗装、一般町道の整備、広域市町村圏の振興整備（清掃施設）、交通安全対策など、地域の特性に応じたしかも住民の生活に直結した事業の整備に努力し、もって町民の経済の発展と福祉を図る考えであります。

田代の自賛をいかがし田代が  
らの手で交通安全の教育と指導を  
加えかゝ、各種団体、学校などと  
も連絡を密にしつつ、事故の撲滅  
に努力する覚悟であります。

一、都市計画

重富第一土地区画整理事業九二、七五〇平方メートルの仮換地指定と区画街路九路線一、三九〇メートルを失業対策事業で実施し、土地の整地工事、幹線水路四四八メートルと暗渠工事支障物件の移転などを計画しています。

本年度は、上名地区区画整理事業三一、五四ヘクタールを実施し更に明四十六年度より二ヵ年計画で実施する川北、山下、三叉地区を含む三五〇ヘクタールの県営ほ場整備事業の推進のための準備を進めたい考へであります。

また、北山中牧地区の農地保全事業（七九ヘクタール）を本年度より実施いたしますが、農道とし



## 広報あいら

(7) 国民年金  
国民所得水準の向上により国民年金制度全般の給付水準の改善が図られつつありますので、今後さらに、年金思想の普及に努め対象者の全面適用をはかるよう努力いたしたいと思います。

(8) 上水道事業  
昨年度に引き続き計画を続行し、本年四月中旬に第一次拡張事業(上水流、触田、城下、森山、春花、中川原、寺師、中津野、住吉増田、永瀬)を完成する運びになりました。したがいまして一般家庭への給水は、四月下旬ごろの予定です。

(9) 献血、預血も町民によく認識していただき採血に協力してもらいうよう努力する考えです。

(10) 国民健康保険事業  
本年度は、とくに、成人病・高血圧症、心臓病などの対策に最高重点を置き、家庭訪問や衛生教育などを実施して早期受診と治療につとめ、負担の軽減に努力する考えであります。

(11) 活の改善を呼びかけるとともに栄養推進員などと協力して実践活動の方策を考えたい。  
活動について、さりに案をそそいでまいりますが、懸念をありました、塵芥焼却場もいよいよ決定を見ましたので、目下二ヵ年計画で建設中であります。が、本年十月より操業の運びとなり、これが運営は西部衛生処理組合が中心となり運営いたします。

また、火葬場の設置についても今後西部衛生処理組合が中心となり検討を進めてまいりたいと存じたします。

給水後は、給水の普及率を高め機構と事務の合理化を再検討して経営の合理化を図り真の企業経営をいたす覚悟であります。

これが促進を図りたいと存じます  
議会を始め、消防団員、町民各位のご協力により、消防施設の整備充実がなされておりますが、本年度は、さらに水槽付消防ポンプ自動車を購入いたし、消防施設の充実を図りたい所存であります。

度分まで近日中に認証される予定でありますので、今後は、補測修正を加え登記所への送付に努めるとともに残地区分の認証事務に努めます。今後関係町と十分協議しては、今後関係町と十分協議して

## 留学生・研究生募集

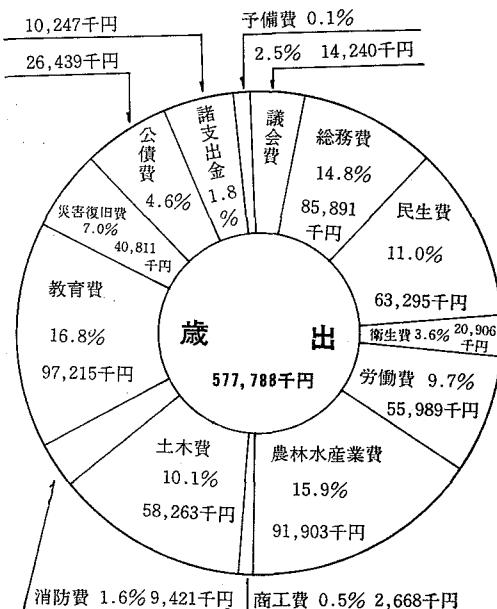
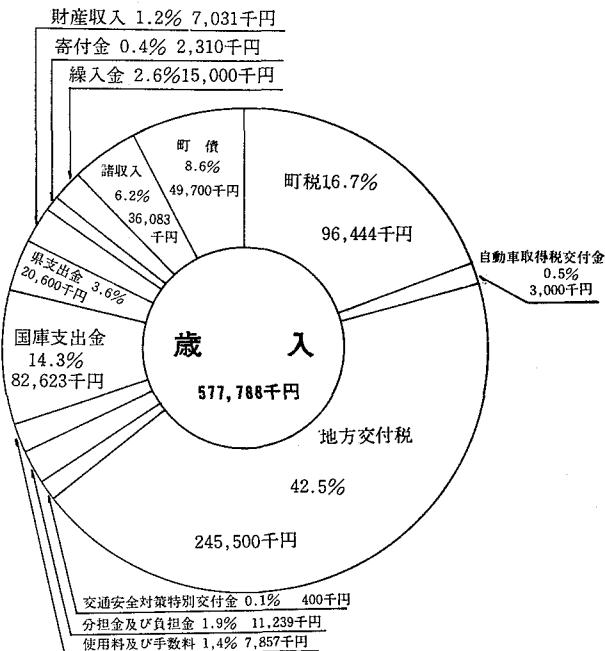
人鹿児島県育英財団(電話②三七三九)なお願書請求の場合は、二十五円切手貼付の返信用封筒を同封してください。

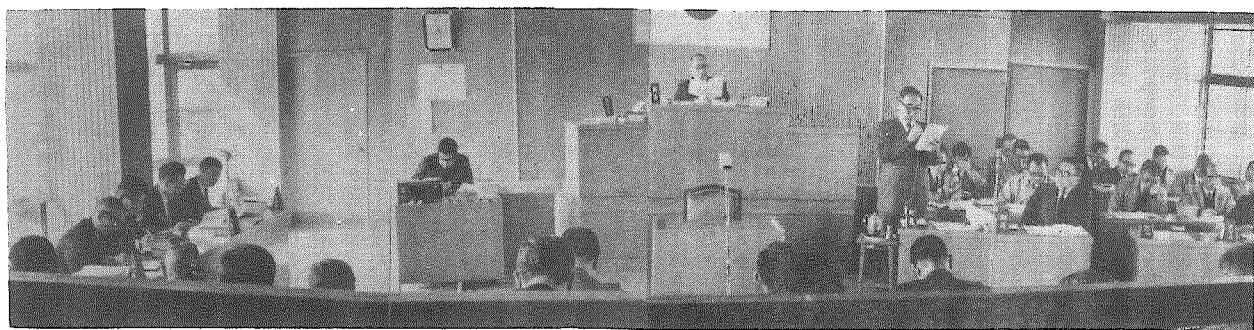
○願書請求および提出先  
鹿児島市山下町一四番五〇号  
鹿児島県教育府管理課内財團法  
人鹿児島県育英財団(電話②三七三九)

これが促進を図りたいと存じます  
議会を始め、消防団員、町民各位のご協力により、消防施設の整備充実がなされておりますが、本年度は、さらに水槽付消防ポンプ自動車を購入いたし、消防施設の充実を図りたい所存であります。

これが促進を図りたいと存じます  
議会を始め、消防団員、町民各位のご協力により、消防施設の整備充実がなされておりますが、本年度は、さらに水槽付消防ポンプ自動車を購入いたし、消防施設の充実を図りたい所存であります。

### 昭和45年度予算に対する構成比





(45年度第1回定期議会風景)

昭和四十五年第1回定期議会は、3月12日に招集され、会期を3月27日までの16日間と決定し、提案された議案は昭和四十五年度当初予算外三十件、陳情七件を審議の経過と結果は次のとおりであります。

議案第十二号より議案第二十号までは町長、助役、収入役、議会議員、教育委員、農業委員、その他各種委員の報酬引上げであります。月額報酬の改訂額は次のとおりです。(内は旧額)

教育長	九二、四〇〇円	助役	一〇二、〇〇〇円	町長	一三七、〇〇〇円	収入役	九一、四〇〇円
	(八〇、八〇〇円)		(一一八、八〇〇円)		(八八、八〇〇円)		(八〇、八〇〇円)

会期十六日間 議案三十一件

議長	三六、〇〇〇円	副議長	三〇、〇〇〇円	議員	二五、〇〇〇円	常任委員長	二六、〇〇〇円	教育委員	五、〇〇〇円	農業委員長	六、〇〇〇円
	(三〇、〇〇〇円)		(二〇、〇〇〇円)		(二五、〇〇〇円)		(五、〇〇〇円)	(四、五〇〇円)		(八、〇〇〇円)	

議案第二十二号 始良町敬老年金支給条例の一部を改正する条例

議員	一四、〇〇〇円	副團長	一四、〇〇〇円	團長	二三、〇〇〇円	班長	一二、〇〇〇円	部長	七、〇〇〇円	分團長	一二、〇〇〇円
	(一三、〇〇〇円)		(一三、〇〇〇円)		(一〇、〇〇〇円)		(一〇、〇〇〇円)	(五、〇〇〇円)		(五、〇〇〇円)	

◎議案第二十一号 昭和四十五年度固定資産税、都市計画税、健康保険税の納期の特例を定める条例

國民	年四月一日よりとなつております	なお適用月日はそれぞれ四十五年四月一日よりとなつております
特殊技術者	六、〇〇〇円	六、〇〇〇円
	(五、〇〇〇円)	(五、〇〇〇円)

## 議会特集号発行にあたつて

議会議長 藤崎安雄

今回から始良町議会は、広報特集号を発行することにしました。少しでも町民みなさまの参考となれば幸かと存じます。

七〇年代は、激動の年と言われにおいても、わが始良町においてもしかりであります。この中で一番町民に影響するものは、農政や、米作調整の問題、農業後継者の問題、住宅及び公害などの諸問題であります。これらをどのように順調に処理していく

べきかは、私共議会に課せられた最大の課題であります。

これらの問題を解決するには、町執行部と議会が相協力して取り組み、町民みなさまの絶大なるご協力とご指導をえてはじめて解決するものと思います。今回は三月議会において議決されました事項を報告申しあげ、順次議員各位の執行部に対する質問なども報告いたします。

本件は固定資産税及び都市計画税の第一期分の納期四月が五月に、国民健康保険税の納期五月が四月に変更されるもので、その理由は

めやすいようにするものです。

◎議案第二十二号 始良町敬老年金支給条例の一部を改正する条例

本件は加入団体の追加であります。

◎議案第二十六号 始良町国民健康保険直営診療所条例の一部を改訂する条例を可決しました。

これは木津志診療所を木津志小学校跡に移転する条例です。

◎議案第二十七号 心身障害者扶養共済制度掛金の一部負担に関する条例

これは原案どおり可決されました。

◎議案第二十三号 始良町敬老年金支給条例の一部を改正する条例

が可決されました。

これは始良町に居住される高齢者に対し、長寿を祝福して、八十才以上の方に年金を支給していますが、八十八才以上を八十五才以上とすることに改正したもので、これが改正するものであります。

本件は消防団の報酬を次のとおり改正するものであります。

◎議案第二十四号 始良町消防団員条例の一部を改正する条例が可決されました。

本件は、始良町の消防団員条例の一部を改正するものであります。

◎議案第二十八号 始良町印鑑登録及び証明に関する条例を原案どおり可決されました。

本件は、今までの印鑑の届けや、印鑑証明の交付などを全面的に改正されたものです。

◎議案第二十九号 昭和四十五年度一般会計予算総額五億七千七百七十八万円、昭和四十五年度一般会計予算は三月二十五日本会議において、町長施政方針などの説明を参考に審議し、原案どおり可決されました。

その他特別会計、災害復旧事業分担金徴収条例など可決、三月二十六日第一回定期会を終了しましたが、本町の行政の歩みについてご検討下さるとともに、本年度予算の執行によって、如何なる行政効果が期待されるか注目していただきたいと思います。

# 皆さんに代つて

## 町政を審議する議会とは

議會事務局長 永倉昇

町民のみなさんの中に「議会はなんでもやれるのに進んでやろう」としない。」という声を聞きますが、そのようなものではありません。国會議員は、国民が選び、総理大臣は国會議員が選ぶようになります。そうして総理大臣は、国の仕事をするために政府をつくります。県や町はそうではありません。県知事、町長は直接住民が選挙して県、町の仕事をつかさどるようになっています。これを執行機関といいます。町長は仕事を推進するため総務課など各課を設置しています。これを補助機関といいます。

ところが議会はそれとはちがいます。よく「議会民主政治」といわれますが、政治は全町民が参加するほどよいのです。しかし数千数万の人人が集まつて話し合うこと現実にはできません。そこで代

議制が生まれて、一定の代表者を議員として選挙で選び、議会を設けて住民の総意を代って決める制度が、今日の地方自治であります。議会は町の意思や方針の議決機関であります。

町長と議会の話のやりとりを聞いた町民の人に「議会は、町長、その他執行機關を攻撃している」ということばを耳にしますが、なにも攻撃しているのではありません。さきほど述べましたように住民の直接選挙によって「町の意思を決めることは議会に」「それにより仕事を推進することは町長に」それぞれ分担し、町長と議会は互いに論議しあい、ただし合つて調和のとれたしかも行き過ぎや独善のない政治がつかさどれるようになつております。

二十四人の議員と一人の町長は、それぞれの権限を持ち、その職務

かし合ふことを忘れて、この便  
いわけによつて町の政治がいつも  
合理性を失なわず、公正に行なわ  
れるよう進めなければなりません  
。数多い議題の中には、町民の立  
場からみれば異論もあると思いま  
す。これを議会が平和な審議を願  
う余り「異議なし」と形式的にす  
ましたらどうなるでしょう。あくま  
でも正しい意見を主張し、正当  
適法なことは進んでこれを行ない  
感情に走らず、冷静に町民総会に代  
た自治の精神を議会活動の上に反映  
させてゆかなければならぬ  
いと思います。

なお、次号には議会の権限、議  
会開会の方法などをおしらせしま  
すが、とにかく政治に関心を持ち  
町からの広報などに目をこおし、  
意見を議員に伝え、よりよい郷土  
づくりに協力していただくよう、  
お願ひいたします。

このたび内閣総理大臣の招待で  
万国博覧会を見物された宮原市左  
衛門さんが無事帰町されました。  
三月三十一日市左衛門さんの息  
子光則さんが役場を訪れ町長に帰  
町のあいさつと万博見物の報告を  
されました。

市左衛門さんは、息子一人と嫁  
孫の四人につきそわれ、安心して  
見物されたそうです。

会場では、百二才の市左衛門さ  
んは、テレビや新聞などの報道機  
関の人気者で一日中おいまわされ

百三才の宮原市左衛門さん

まだまだ元気

るしまつだつたとか。

まが生まれてはじめて見る会

なんとも 大いへんたつたろうと  
感心されたそうです。

一物の三口に三一年の金原  
であつた比叡山に参拝され、これ  
で思いのこすことはないと大いへ  
ん喜ばれござります。

このたび内閣總理大臣の招待で  
万国博覧会を見物された宮原市左  
衛門さんが無事帰郷されました。  
三月三十日市左衛門さんの息  
子光則さんが役場を訪れ町長に帰  
町のあいさつと万博見物の報告を  
されました。

市左衛門さんは、息子一人と嫁  
孫の四人につきそわれ、安心して  
見物されたそうです。

会場では、百二才の市左衛門さ  
んは、テレビや新聞などの報道機  
関の人気者で一日中おいまわされ

(万国博覧会場にて宮原さん)



て水利費をカバーする金額が折り込んであり、賦課徵収できる旨の見解がなされています。

米生産調整に半支う、木耕池

対する土地改良区の水利費（経常賦課金）徴収について、町内の統

一到一ノ和賀（絶対賀）を荷  
取することに申し合せをいたしま  
した。

新規不動産開発地の住戸数（二三ヘクタール）については、役員会において別途考慮されることにな

このことについて、全国土地改良区の理事長会を開催し、いろいろな点から検討した結果、休耕及び耕作地（山林転用、永年作物への転用を除く）に対し、全会一致をはかるため、三月三十日各土地改良区の理事長会を開催し、いろいろな点から検討した結果、休耕及び耕作地（山林転用、永年作物への転用を除く）に対し、全会一致で、農業團体連合会長より農林省農地局長に対し、質疑書を提出中のところその回答でも奨励補助金の中には米生産のための諸経費として

つています。  
以上のとおりですので、各土地  
改良区の健全な運営ができるよう  
組合員皆様のご理解とご協力をよ  
願いします。

昭和四十五年度

## 農政推進施策について!!

卷之二

昭和四十五年度は一九七〇年代と迎える初年度で、六〇年代の経済成長の余勢を受けて一段と、飛躍の期待される年であろうと思

われますが、急速に変ぼうする社会情勢の中で、今後どのようにして、本町農政を推進して行くべきか!!極めて重要な問題であります。国は昨年より食糧政策面だけではなく、国民生活安定のために流通消費の面まで、いわゆる総合農政を企画しているが、最近の農政事情は極めてきびしい情勢にあります。

②生活水準の向上 ③食糧需要の変化 ④国際貿易の自由化 ⑤農産物価格の不安定 ⑥他産業他地域間の格差拡大に伴う農業労働力の流出の質的低下等又特に緊急課題として、米の生産調整と減反対策などを含めすべての部面について極めて不安定であり今後の推進については、国の慎重な対策措置が必要であると同時に、農家自身においてもこのような情勢を認識しこれに対応し得るよう用心構えも必要であると思ひます。

先般発表された、国の総合農政基本方針によれば、総合農政の推進で最も重要なことは、規模の大きい高能率の近代化農業の育成である、自立經營農家の育成、兼業農家を含め生産性の高い各種の集団的生産組織を育成助長する。こ

二、農地流動促進と規模拡大への  
展望

### 三、研究指導体制と農家の自主性の確立

以上四項目の中で第四に掲げました、近代化農業育成事業の実施要

五〇アール以上の増反農業者で果樹經營面積一ヘクタール以上の農

領について申し上げたいと思います。本町農業者の中では将来企業的農業経営を志向される、青少年、農業後継者などの方々を対象として次の要領で実施いたしたいと思います。

① 大型機械購入補助

水田作業組織等、五人以上の共同利用としてコンバイン（刈取り脱穀機）購入に対し、購入価格の三分の一を補助する。

近代化農業育成事業を実施いたしましたので、各作目についてご希望の方は役場経済課に申し出で下さ。い。紙面の都合で充分な説明も出来ませんので詳細につきましては、直接経済課又は農協技術員などにお問い合わせ下さい。  
尚次号には農業構造改善事業と農業振興地域整備計画等について御説明申し上げたいと考えます。

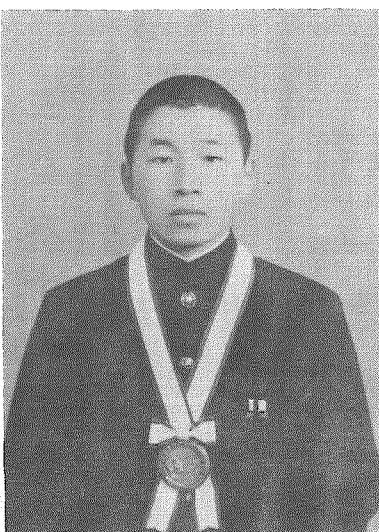
## 新徳君最優秀選手に!!

れたものです。

昭和四十四年度南日本スポーツ  
優秀記録賞を帖佐中学校の新徳洋君(当時一年生)が授賞しました。

表彰式は、県自治会館で行なわれ、金丸県知事から表彰状とメダルを首にかけられ満足そうでした。体力づくり日本一の姶良町にとって、「二年後ひらかれる太陽国体へ寄せる彼への期待は大きいもの

(タルを首に新徳君)



④ 牛肉用牛販賣業者

⑤ 農家芸園設施

昭和四十五年度において、一〇〇

坪以上の施設を増加する施設園芸

農家に対し一坪当たり三百日補助する

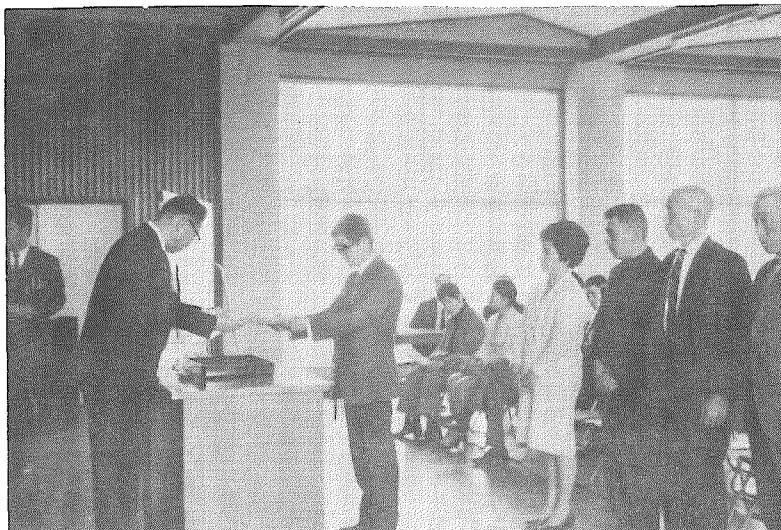
⑥ 果樹經營農家

優良農家褒賞授与式

三月三十一日農業会館で昭和十四年度の優良農家褒賞授与式が行なわれました。  
会場には、生活改善グループの料理や手芸が展示され、式に花を

そえました。  
厳正な審査の結果授賞者は、次  
のとおりです。

(授与式風景)



**二、養鶏農家の部**

富田光夫（大山西）、鳥越 穎（黒瀬北）、出水辰雄（大山西）、福村テル（西ノ妻）、工（上脇）、松迫清隆（春花上）、溝口早苗（城）

**三、和牛生産肥育農家の部**

福重義晴（原方）、山路隆義（楠元）、高畠春義（春花）、風呂靜夫（鍋倉）、中村光吉（奈良秋）、福岡三秋（木津志東）、田口ミヤ子（寺村）、小松茂仁（豊野）、福追俊行（西ノ妻）、隈元康哉（高橋）

**四、養豚農家の部**

上中園一雄（山元）、比知屋（山花）、忍（山花）、比知屋寿雄（山花）、黒島野金次郎（黒島野）、湯徳登（増田）、宮園早苗（宮脇）、田中盛忠（古馬場）、下園盛直（鶴田）、新園初野（中川原）、福崎繁信（堂山）、京田富士雄（春花）、五、酪農農家の部

福崎 透（東原東）、川辺清四（十日町）、六、たばこ農家の部

東 武雄（永瀬）、大重 博（上麓）、堀之内義盛（中津野）、七、養蚕農家の部

松田良産（中飯）、中島清孝（馬場）、郡山吉輝（馬場）、八、園芸農家の部

永里フヂ子（寺師）、池之上スミエ（増田）、森 正雄（高橋）、九、農業生産グループの部

城養蚕グループ（代表樋木重則）、農業後継者グループ（代表咸久幸）

養蚕振興大會

四月四日本津志において、生産者三百六十人が参加して、養蚕振興大会が盛大に行なわれました。午前中は、新しくできました木津志稚蚕共同桑園で植樹祭が行なわれ、二、六ヘクタールに桑の苗が植え付けられました。この桑園は事業費七百七十七万七千円を投じ完成したもので、十五年度には、稚蚕飼育所を新築することになります。

現在、山田と北山に稚蚕飼育所がありますが、経営の拡大にとも

ない稚蚕が不足している現状です。その不足を補うことと、今後ますます養蚕が盛んになるように新設されるものです。

午後は、役場木津志出張所で野村農協長のあいさつにはじまり、各種品評会の褒賞授与、四十四年度決算報告、四十五回度予算案の承認、四十五回度事業計画の審議があされました。

最後に池田町長や秋丸県議会副議長などのはげましのことばがあり、大会を終了しました。



(植樹する野村農協長)



## 栄養教室生募集について

昭和四十五年度栄養教室初級生の募集をいたしてます。（但し二年間継続の出来る方）町内に居住しておられる主婦の方なら、だれでも応募出来ます。（会場重富口山花・米山公民館）官製ハガキで部落名・職業・年令・氏名記入の上町公民館（社会教育課）に五月十五日まで申し込み下さい。

五月 公衆衛生について  
六月 栄養概論・蛋白・脂肪について

七月 右 全糖質・ミネラル

八月 調理実習  
九月 栄養概論・ビタミンについて  
十月 食品の知識  
十一月 消化吸収  
一二月 調理実習  
三月 食品衛生

四月 ルード  
五月 献立と調理  
六月 どの位の栄養量が必要

七月 調理実習  
八月 栄養概論・ビタミンについて  
九月 食品の知識  
十月 消化吸収  
一一月 調理実習  
一二月 献立と調理  
三四月 どの位の栄養量が必要

五月 献立と調理  
六月 どの位の栄養量が必要

七月 調理実習  
八月 栄養概論・ビタミンについて  
九月 食品の知識  
一〇月 消化吸収  
一一月 調理実習  
一二月 献立と調理  
三四月 どの位の栄養量が必要

七月 調理実習  
八月 栄養概論・ビタミンについて  
九月 食品の知識  
一〇月 消化吸収  
一一月 調理実習  
一二月 献立と調理  
三四月 どの位の栄養量が必要

七月 調理実習  
八月 栄養概論・ビタミンについて  
九月 食品の知識  
一〇月 消化吸収  
一一月 調理実習  
一二月 献立と調理  
三四月 どの位の栄養量が必要

七月 調理実習  
八月 栄養概論・ビタミンについて  
九月 食品の知識  
一〇月 消化吸収  
一一月 調理実習  
一二月 献立と調理  
三四月 どの位の栄養量が必要

七月 調理実習  
八月 栄養概論・ビタミンについて  
九月 食品の知識  
一〇月 消化吸収  
一一月 調理実習  
一二月 献立と調理  
三四月 どの位の栄養量が必要

七月 調理実習  
八月 栄養概論・ビタミンについて  
九月 食品の知識  
一〇月 消化吸収  
一一月 調理実習  
一二月 献立と調理  
三四月 どの位の栄養量が必要

七月 調理実習  
八月 栄養概論・ビタミンについて  
九月 食品の知識  
一〇月 消化吸収  
一一月 調理実習  
一二月 献立と調理  
三四月 どの位の栄養量が必要

七月 調理実習  
八月 栄養概論・ビタミンについて  
九月 食品の知識  
一〇月 消化吸収  
一一月 調理実習  
一二月 献立と調理  
三四月 どの位の栄養量が必要

七月 調理実習  
八月 栄養概論・ビタミンについて  
九月 食品の知識  
一〇月 消化吸収  
一一月 調理実習  
一二月 献立と調理  
三四月 どの位の栄養量が必要

七月 調理実習  
八月 栄養概論・ビタミンについて  
九月 食品の知識  
一〇月 消化吸収  
一一月 調理実習  
一二月 献立と調理  
三四月 どの位の栄養量が必要

七月 調理実習  
八月 栄養概論・ビタミンについて  
九月 食品の知識  
一〇月 消化吸収  
一一月 調理実習  
一二月 献立と調理  
三四月 どの位の栄養量が必要

## 青年祭で

## 優秀な成績

## 心配ごと相談日

## 変更について

献血にご協力下ください

最近、交通事故や外科手術の発達などから、輸血用の血液が不足しています。

この血液の不足を打開し血液の供給を満たすため、始良町献血推進協議会では、町民のみなさんに献血に対するご理解とご協力をよびかけています。不慮の事故にそなえ献血し、預血しておきましょう

献血期日 五月一日 九時から十二時まで、重富駅前広場 13時から15時まで 役場本所

昭和45年4月25日発行

## 交通災害共済の加入について

## 加入についてお願ひ

昨年は町民のみなさんが多数加入していただきましたが、本年三月三十一日を以つて有効期限が切れました。ついては新たに四十五年度分の申し込みをただいま役場で受付けていますが、人口の二〇パーセントしか申し込み者がありませんので未加入の方は早目に役場総務課に申し込まれるようお願いします。なお掛金は一人三六〇円となっています。

昭和四十五年度計画表  
五月 吉野自然公園  
六月 霧島つつじ  
七月 竜門寺焼  
八月 薩摩大川原峠  
九月 新川渓谷巡り  
十月 郷社八幡神社浜下り  
十一月 栗野岳  
一二月 高牧・福ヶ野巡り  
一月 鹿児島神宮初詣  
二月 木津志  
三月 高屋山陵

## 史蹟めぐり歩こう

## 会員募集

## 新役員

町婦人会  
会長 城光寺トキヤ  
副会長 岩井ノブ・肝付 正

一金参千円也 高橋 竹下 清和殿  
一金参千円也 故瀬戸口七郎様  
一金五千円也 仮屋 濑戸口ミエ殿 95  
一金五千円也 故住本昌之殿 75  
一金五千円也 故井上仲袈裟様 87  
一金五千円也 故風呂福太郎様 78  
一金五千円也 故藤山セイ様 85  
一金五千円也 故中馬登様 54  
一金五千円也 故西タメ様 98  
一金参千円也 故松下キク様 87  
一金参千円也 故小坂時義様  
一金五千円也 大山東 小坂 ミニ殿 84  
一金五千円也 故新村テイ様  
一金五千円也 岩崎 松元 キヨ殿 72  
一金五千円也 故沢田ム子様  
一金五千円也 柚山下 沢田 清治殿 47  
一金参千円也 故瀬戸山瞳良様 74  
一金参千円也 新馬場 富山 静子殿 75  
一金参千円也 故富山勝様 75  
一金参千円也 星原 富山 静子殿 79

一金五千円也 故徳村岩熊様  
木津志中 徳村 イイ殿 74  
一金参千円也 故竹下正史様 0  
一金参千円也 故瀬戸口七郎様  
一金五千円也 中川原 新園 武徳殿  
一金五千円也 故井上仲袈裟様 87  
一金五千円也 故風呂福太郎様 78  
一金五千円也 故藤山セイ様 85  
一金五千円也 故中馬登様 54  
一金五千円也 故西タメ様 98  
一金参千円也 故松下キク様 87  
一金参千円也 故小坂時義様  
一金五千円也 大山東 小坂 ミニ殿 84  
一金五千円也 故新村テイ様  
一金五千円也 岩崎 松元 キヨ殿 72  
一金五千円也 故沢田ム子様  
一金五千円也 柚山下 沢田 清治殿 47  
一金参千円也 故瀬戸山瞳良様 74  
一金参千円也 新馬場 富山 静子殿 75  
一金参千円也 故富山勝様 75  
一金参千円也 星原 富山 静子殿 79

一金五千円也 故徳村岩熊様  
木津志中 徳村 イイ殿 74  
一金参千円也 故竹下正史様 0  
一金参千円也 故瀬戸口七郎様  
一金五千円也 中川原 新園 武徳殿  
一金五千円也 故井上仲袈裟様 87  
一金五千円也 故風呂福太郎様 78  
一金五千円也 故藤山セイ様 85  
一金五千円也 故中馬登様 54  
一金五千円也 故西タメ様 98  
一金参千円也 故松下キク様 87  
一金参千円也 故小坂時義様  
一金五千円也 大山東 小坂 ミニ殿 84  
一金五千円也 故新村テイ様  
一金五千円也 岩崎 松元 キヨ殿 72  
一金五千円也 故沢田ム子様  
一金五千円也 柚山下 沢田 清治殿 47  
一金参千円也 故瀬戸山瞳良様 74  
一金参千円也 新馬場 富山 静子殿 75  
一金参千円也 故富山勝様 75  
一金参千円也 星原 富山 静子殿 79

## 香典返し

三月一日～三月末日まで  
町社会福祉協議会へ寄付

## 寄付金

町国民年金協議会へ寄付  
一金五千円也 故春山竜雄様  
白金原 春山恒一郎殿 79

いままで心配ごと相談日を毎月

五日、二十日に町公民館に於いて開設していましたが、五月一日から毎週火曜日午前九時から午後四時まで相談に応じることになりました。十分ご利用ください。

知らせします。  
なお、行政相談は、毎月最終火曜日になりました。  
いづれも相談料は無料です。